

平成26年6月18日(水) 11時30分～12時00分

委員長(河村市長)、副委員長(新開副市長)、委員(宮村市民経済局長、黒川緑政土木局長、早川緑政土木局副局长、伊藤天白区長、小半天白区区长生活部長) 始め14名

発 言 者

内 容

事務局

本日の議題は、住民意向調査のやり方に関する意見聴取についてです。先回の第3回検討委員会で市長から調査の方法について、案を作る前に、地元や諸団体の方々だけでなく、一般市民の方々からも意見を伺うべきだという指示をいただきました。その調査のやり方に関する意見をお聞きする進め方の案を資料1にまとめられています。案の意見聴取は

ことを考えています。

まず、①ですが

、一般市民

意見を伺います。各学区の小学校体育館などを会場として、弥富相生山線の概要と住民意向調査の必要性などを説明し、意見を伺います。また、最後には、別添1の

次に、資料1の、②の地元及び諸団体からの意見聴取についてです。こちらは、資料の別添2、別添3を用いて行いたいと思います。別添2の方はやり方を書いています。意見を伺う対象としましては、地元として

諸団体と

して、

以上の方々を考えています。これらの地元や諸団体の代表者の方々から住民意向調査のやり方に関する意見聴取を、別添3の資料を使用しながら意見を伺いたいと考えています。

ていきたいと考えています。議題についての関連資料は以上ですが、一番最後の資料2に参考として、現在までに地元及び諸団体の方々からいただいたいる住民意向の調査に関する主な要望をまとめたものを添付しています。資料の説明は以上です。

副委員長 　　どうですか、　　方式。

委員長 　　こうやって調査のやり方を聞くとどうなるのか。そもそも、いい結論が出るかどうかは難しいところだ。だから住民投票という手法でやるということになる。実際は。住民投票は歴史的な発明、人類の英知ですから。

黒川委員 　　全住民ではなく一部に限定されますが、地元の方々に
伺って、　　意見を
意向の調査を把握するやり方としてはどの手法がいいでしょうかと。こうし
た　　行って、一歩進めたいと考えています。

委員長 　　以前、一部の人に聞くのは良くないと区長は言っていなかったか。

伊藤委員 　　抽出で実施するのは、私の意見としては反対です。全員に案内をした方が良
いと以前から申し上げています。もう今この課題が学区の中に現にありま
すので、「どうして私の意見は聞いてもらえないのだ。」という意見が抽出さ
れなかった人から出ると思います。またそこで要らぬ争いというか、そう
いうことが起きることを心配しています。

委員長 　　確かに熱心な人もいるから。

伊藤委員 　　そうです。隣にはきたのにうちにはきてないということが起きます。

委員長 　　無作為抽出にするとする。その場合、無作為抽出の人の意見は名古屋市全体
の意見としてよいか。参考意見になるのか。いや市場調査になるのか。こ
の無作為抽出は市場調査とはちよつと違う。

黒川委員 　　地域が限定されるので。名古屋市全体の傾向ということではないと思いま
す。

委員長 　　ベルリン市内全域で住民投票が行われた。ベルリン大空輸の舞台となったテ
ンペルホーフ飛行場跡地を開発するかどうかの住民投票。これは開発しない
という結果になった。65%で。市長はそのとおりにしますと言ってそれで
終わりになった。

黒川委員

地域委員会の効果検証のアンケートでは、市全体で2000人、モデル学区の方は7学区7000人というように、間接的な聞き方しているので、それに倣っています。数の問題は確かに人でもいいのかという話はあるかもしれませんが。効率性と時間との関係もありますので、こういった案のご提案です。

委員長

地域委員会の場合はマーケティングになる。こちらは有権者の判断を聞くということだからかなり性格が違う。

黒川委員

モデル学区7つの7000人アンケートは、その学区の人たちに聞いています。実際の取組による利益を受けた方なのか、現実にもそういう体験をされた方なのかはわかりませんが、そういう方々を対象に地域委員会ではアンケートをやっています。こちらの場合はまずやり方の話ですが。

委員長

急がせてはいかんが、自分なりに市民の意見の把握もしたい。どうしても通してくれという声があまき聞こえない。地下鉄ができたからかもしれないが。

黒川委員

天白区を住みよくなる会からは、天白区の総意として早期建設を、という声も上がっているということを聞きました。

委員長

それはそういう声もあるが、一般的にはあまり無いと感じている。野並交差点は、地下鉄が延伸したので通過交通の町になってしまっ、なかなか商売も流行らなくなってきたと聞いている。

黒川委員

野並は通過駅になりましたから。

委員長

そうだ。道路通すとまた古出来町みたいに通過交通の町になるがそれでもいいのか。間違えていないのか地元の人たちは。通過交通の町になって嬉しいのか。町の名所となるランドマークを造った方がよっぽどいいのではないか。地元の天白区より遠いところの人が道路を通したいと言っているだけじゃないのか。

黒川委員

豊明が後背地です。

委員長

豊明の人が道路通してほしいと言っているのでは。だから地元の人にとっては通過交通になるだけだ。地下鉄は通っていても、古出来町みたいだ。

黒川委員

大松通ですか。

なる。

黒川委員

しかし、道路がなかったら物も人も運ばません。

委員長

それを一旦考え直そうというのがESDだ。今取組んでいる。

環境に配慮した道路を作るのにも反論がある。ESDというのはそれからさらに出てきた考えだ。20年30年経った時に、今道路をつくることは名古屋市民のためにならないと。

黒川委員

既に聞いていると思いますが、道路の部分しか買収が済んでいないので、それ以外のところはほとんど民有地ですから、何か整備するにしてもまた用地買収から必要になります。

委員長

ESDの世界会議を名古屋で開催するのに、本当に道路を作っているのだからうか。自然を守りましょうと言っている時に、COP10の時もそうだったのが本当にいいのか。

早川委員

自然を守るためにも道路をどのように配慮して作ったということです。普通の道路の作り方とは全然違います。それを評価していただきたい。

委員長

既にその時代が変わったんじゃないのか。

早川委員

ESDで言っていることを具現化しているような道路だと思えます。

委員長

それなら、そう主張すれば良いではないか。

副委員長

今日はまず、この住民意向調査のやり方を聞くことについて決めたいです。
[黒]人の無作為抽出が良くないということなら他に方法はありませんか。

委員長

結局、こういう方法がいいのかわからなくなり、やっぱり郵送による住民投票みたいなのをみんなにすることに。

副委員長

ですから、やり方に関する[黒]選択肢もいれて一遍取ってみようと思っています。

黒川委員

そういう選択肢も中に入れてあります。

委員長

無作為抽出だと一部の人だけに意見を聞くことになる。

副委員長

投票できる資格者は各学区何人くらいか。

事務局

合せて

各学区

人です。約 人にて1人ぐらいの方

が対象になります。

これはやり方を聞くものです。

委員長

やり方を聞くのか。

黒川委員

本当の住民意向の調査として、例えば投票箱方式と決まれば、全住民
人を対象にして、予算を確保してそういう形でやることになります。

委員長

どういう結果になるのか。

副委員長

やってみないとわからない。

委員長

公平なのかどうなのか気になる。

副委員長

人では少ないということですか。

委員長

少ないというか住民投票をやりますかと聞くという事が。本当に住民投票は
どうなるのか。

黒川委員

条例に基づくものではなく、一つの伺いに対するやり方の話ですから、ひよ
っとしたら市長の意思決定において最重要なものにはならないかもしれま
せん。

委員長

だが、結果が出てその通りにやらなければやりますまい。やはり結果には縛
られる。

黒川委員

確かに市長は今まで、意向を踏まえてと言ってきたから。

委員長

だけどそれは本当の有権者の判断となる。選挙と同じだ。選挙の予備投票は
公選法で禁止されているが。予断を与えるとやはりいけないのではないか。
少し相談するの待ってほしい。

黒川委員

検討委員会は4回目になりますが、3回目までの市長の発言等を踏まえて、
市長の考えを最大限取り入れたやり方だと思っています。是非こういうやり
方でやらせてほしいのですが。

委員長

一遍考えさせてほしい。すぐに返事しろと言われても。

黒川委員	分かりました。考えていただけたということ。
副委員長	それで、②の方のやり方ですが、市長は地元と諸団体の代表者の意見は聞かなくても分かっているとのことですがどうしましょう。
委員長	雰囲気は分かっている。
副委員長	この案では、市長は出ないけれども、意見はちゃんと聞いておくというものです。それでいいですか。それとも市長も出られますか。意見は分かっているけど。
委員長	来た人に市長は何故いないのかと必ず言われる。
副委員長	市長は来なくても意見は分かっているからと言っておきます。
委員長	それでは無責任だ。 やはり私も出席しないとだめだ。
黒川委員	是非。都合がつけば。
副委員長	では参加という方向で。
委員長	まあ参加だが。迷うところだ。
副委員長	その時までに考えていただければ。
委員長	同じことを聞くのにもう1回やるのかということだ。市政ミーティングの場で各団体からの要望は聞いているのでほぼわかっている。団体の名前で発言されたわけではないが、ほぼ全会場で話は伺った。
黒川委員	しかし、時点修正もあるかもしれませんので。もう一度聞いていただくというかどうか。
委員長	地元も諸団体も同じ会場で対面してやるということか。
事務局	地元と諸団体は分けようと考えています。
黒川委員	別の日で。
事務局	はい、別の日で。

地元は地元、諸団体は諸団体で、2回あるということだね。

はい。

それではあんまり意味がないね。やるとしても。

同じ会場では、やはりお互い意識されて、なかなか発言しづらいものですから。

同じ壇上でやらないと討論にならない。

討論ということなら同一会場ということになる。

地元と団体が討論をするという想定ですか。

そう思っている。

まだ意向調査のやり方を聞く場ですので、討論は必要ないのでは。どういうやり方がいいのかということをしつかりお聞きする場にすればよいと思います。地元の方々の心持を考えると一緒はどうかと。

地元と団体の方の意向もあると思いますので。市長からは一緒にやった方がいいんじゃないかというご意見を受け賜りました。

やるならですよ。まだ決めたくはない。

地元の人がどうして道路建設に賛成するのかわからない。私は古出来町に住んでいるからよく分かる。道路が通っても何も嬉しくない。

いや、道路がないと寂しいですよ。真っ暗ですから。

名古屋市には環状道路がないとだめだとか、基幹バスが必要だとか、いろいろなことで地元の人たちは耐え忍んでいる。

道路がなかったら街路灯もないですよ。

道路がないところで街路灯があるところはたくさんある。

普通は逆になるはずだ。地元は反対で、地元でない豊明の方が賛成と。そういうのが大方だ。どっちかが100パーセントにはならないけれど、60パーセントぐらいでそうなるはずだ。地元の人たちが市役所に洗脳されたのか。しかし何か悲しい。地元の人を通り抜け交通があるから大変気の毒だ。私も早く取り組まなければと思っっているが、警察は道路を造るか造らないか

黒川委員

物理的に進入できないものを設置しないとなかなか難しい。規制だけでは。

委員長

対策の方法はあると思う。一週間時間がもたらえれば、私が警察と協議してもいい。通り抜け禁止にして区域内の人たちだけ通行可にするという方法もある。

黒川委員

あります。通行許可証を出して。

委員長

通り抜けのルートを通行禁止にすれば、それでいいという考えもある。そうすればそれだけで済む。

事務局

それでは、一旦市長に考えていただくといいことで継続審議とします。

以上